

受験（受講）
会場名受講
番号

認定担当サイン

准教育カウンセラー認定申請書

西暦 年 月 日

特定非営利
活動 法人

日本教育カウンセラー協会会長 殿

私は、日本教育カウンセラー協会の趣意に賛同し、貴協会認定
准教育カウンセラーの資格を取得したいので、所定の書類、申請料
をそえて申請いたします。

写 真 貼 付
50×40 程度

ふり がな
氏 名 _____(ローマ字) _____ , _____
(姓) (名)

生年月日 西暦 年 月 日生

現住所 〒 都道府県 _____

電話 _____ FAX. _____

電子メールアドレス _____ (携帯メール不可)

◆応募動機

.....

.....

.....

.....

履 歴 書

氏 名 _____

※年号は全て西暦でご記入ください

I 学 歴（高等学校以降を記入。最終学校の在学証明書を添付）

			資料 No
年 月		卒業・見込み	
年 月		卒業・見込み	
年 月		卒業・見込み	
年 月		卒業・見込み	

II 免許・資格（見込みを含む）

取得年月	免 許 ・ 資 格 名	資料 No
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

III 職歴（実践歴）※ある場合は、教育カウンセリングに関する実践歴を中心に記入してください。

期 間	勤 務 先	役職・担当
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		
年 月～ 年 月		

IV 研修歴（修了証や単位収録証明、講座内容がわかる資料の写しを添付）

年 度	研修講座名	主催者	総研修時間	備考	資料 No
年			時間		
年			時間		
年			時間		
年			時間		

分野	科目	内容	養成講座	その他講座	大学・大学院	自学自習
教育カウンセリングの原理・基礎	教育カウンセリング概論	教育カウンセリングの主たる課題と方法，教育カウンセラーの必要性和守備範囲，職業倫理，教育法規，教育課程				
	発達の理論	発達の考え方・理論，発達課題				
	アセスメント	アセスメントの重要性，方法と特徴				
	ガイダンスカリキュラムの原理	生徒指導の構造からの位置付け，特色，取り組み，開発と実践				
カウンセリングの理論	精神分析理論	性格形成論，性格構造論，防衛機制，コンプレックス，基礎技法				
	自己理論	人間観，来談者中心療法，受容・共感，自己概念，自己一致，純粋性				
	行動理論	方法論的行動主義，条件反射理論，試行錯誤理論，学習理論，系統的脱感作法，認知行動療法				
教育カウンセリングの方法とスキル（実習を含む）	個別面接	コーヒークップモデル，受容・繰り返し・明確化・支持・質問，非言語的技法				
	構成的グループエンカウンター	定義・目標・目的，思想的・理論的背景，必要性，原理，進め方，相違				
	サイコエジュケーション	定義・目的，内容，方法，留意点				
教育カウンセリングの扱う領域・問題	キャリア探索	定義，キャリア発達とは，キャリアガイダンスとは，プログラム，ガイダンスとカウンセリング				
	個人的・社会的発達	人格形成，社会性の育成，生徒指導の諸問題				
	対話のある授業	目的・理想，展開モデル，授業づくりとSGEとシェアリング，対話のある授業づくり				
	学業発達	学習習慣・学習スキル・学習ストラテジー				
	学級・学校経営	学校教育と学級経営，学級集団の発達過程，教師のリーダーシップ・チームワーク				
	問題行動への対応	問題行動とは，「反社会的行動」と「非社会的行動」，要因，理論				
		非行（定義・種類，予防，対策，連携）				
		いじめ（定義と現状，予防の具体的展開，対応）				
		不登校（定義，実態，原因，心理，援助方針）				
	特別なニーズへの対応	理念，対象，ソーシャルスキルと自尊感情の育成				
	家族・対保護者の問題	自己開示，説明責任と情報提供，ピア・ヘルプ				
	教師のメンタルヘルス	現状，要因，援助希求，早期発見・早期対応				

准教育カウンセラー認定申請自己評価票

年 月 日現在

氏 名

西暦 年 月 日生まれ

ローマ字 (姓)

(名)

I 最終学歴 (見込みを含む)	下記以外 ⇒1 教育・福祉・保健・医療機関 短大・専門学校卒+実務経験2年以上 ⇒ 2 大学卒 教育・心理・福祉関係学科 ⇒ 3 左記以外大学 ⇒ 2 大学院 教育・心理・福祉関係修士課程修了⇒4 左記以外修士課程修了⇒3 教育・心理・福祉・医学関係博士課程修了・単位取得退学⇒5 左記以外博士課程⇒4	① いずれかを記入
II 学位・免許・資格等 (見込みを含む)	教育免許(第一種・第二種)⇒4 教員免許(専修)⇒5 主なものを ② 保育士資格 ⇒4 看護師免許 ⇒4 医師免許 ⇒5 ひとつ選択 J E C Aピアヘルパー ⇒2 准子育て支援教育カウンセラー ⇒2 認定心理士 ⇒1 准学校心理士 ⇒2 ガイダンスカウンセラー ⇒4 学校心理士 ⇒4 特別支援教育士 ⇒4 カウンセリング心理士 ⇒4 キャリア・カウンセラー ⇒4 保護司・民生委員 ⇒3 学校カウンセラー ⇒4 臨床発達心理士 ⇒4 公認心理師 ⇒4 産業カウンセラー ⇒4 臨床心理士 ⇒4 精神保健福祉士 ⇒4 心理検査士 ⇒2 厚生労働省主管の(福祉・医療系)国家試験 ⇒3 都道府県認定の教育・心理・福祉関連資格 ⇒2 その他の教育・心理・福祉関連学会認定資格 ⇒2 その他の教育・心理・福祉関連民間認定資格 ⇒1	③ 合計点で記入 5点以上は すべて5
III 実践歴	生徒指導・進路指導・教育相談・健康相談・障害児教育・職場相談等担当の合計経験年数 1～2年 ⇒1 3～4年 ⇒2 5～6年 ⇒3 7～9年 ⇒4 10年以上 ⇒5	④
IV 研修歴	研修講座(講演会を除く)・カウンセリング専門校・教育カウンセラー養成講座等での総受講時間数 22～40時間 ⇒1 41～55時間 ⇒2 56～70時間 ⇒3 71～85時間 ⇒4 86時間～ ⇒5 大学・大学院・教育センター等での長期研修・内地留学の経験 3か月以下 ⇒1 4～6か月 ⇒2 7か月～1年未満 ⇒3 1年～2年未満 ⇒4 2年以上 ⇒5 大学院・大学・短大(通信課程を含む)で科目等履修生としての履修単位数(在学時の単位は除く) 2～12単位 ⇒1 14～30単位 ⇒2 32単位以上 ⇒3 事例研究会参加時間数 5～10時間⇒1 11～16時間⇒2 17時間以上⇒3 スーパービジョンを受けた回数 1～2回 ⇒2 3～5回 ⇒3 6回以上 ⇒4 SGE宿泊コースに参加した回数 1～2回 ⇒2 3～4回 ⇒3 5回以上 ⇒4 教育カウンセラー養成テキスト学習塾受講 ⇒2	⑤ ⑥ ⑦ 合計点で記入 5点以上はすべて5
V 研究歴	研究会等での発表 1～2回 ⇒1 3回以上 ⇒2 学会での発表 1～2回 ⇒2 3回以上 ⇒3 研究報告書・雑誌論文・単行本分担執筆 1～2編 ⇒1 3編以上 ⇒2 学会誌掲載審査論文あり⇒4 著書(単著・編著)あり⇒3	⑧ 合計点で記入 5点以上はすべて5

准教育カウンセラーから初級教育カウンセラーへの特別措置：

上記Ⅲの実践歴 1年以降に申請することにより初級教育カウンセラーが認定される。

参考：初級 合計11ポイント以上(かつ④実践歴および⑤研修歴がそれぞれ1ポイント以上必要)

中級 合計21ポイント以上(かつ④が3ポイント以上)＋認定試験(別途)

上級 合計29ポイント以上(かつ⑦および⑧がそれぞれ2ポイント以上)＋認定試験(別途)

①～⑧の
合計ポ
イント